

【経営比較分析表の各指標について】

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

給水収益や加入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。単年度の収支が黒字であることを示す100%以上であることが必要。

②累積欠損金比率(%)

営業収益に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと）の状況を表す指標。累積欠損金が発生していないことを示す0%であることが必要。

③流動比率(%)

短期的な債務に対する支払能力を表す指標。1年以内に支払うべき債務に対して支払うことができる現金等がある状況を示す100%以上であることが必要。

④企業債残高対給水収益比率(%)

給水収益に対する企業債残高の割合で、企業債残高の規模を表す指標。高すぎる場合は借入が多いなどの懸念が、低すぎる場合は必要な投資が行われていないなどの懸念があり、バランスの良い数値が求められる。

⑤料金回収率(%)

給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表した指標。100%を下回る場合、給水に係る費用が給水収益以外の収入（一般会計からの繰入金など）で賄われていることを示す。給水収益で費用が賄えていることを示す100%以上であることが必要。

⑥給水原価(円)

有収水量（給水収益につながった水量）1m³あたりについて、どれだけの費用がかかっているかを表す指標。低コストで給水できていることを示す、できるだけ低い値であることが求められる。

⑦施設利用率(%)

一日配水能力に対する一日平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標。数値が低い場合は、施設が遊休状態にあることを示す。一般的に、効率性の観点からは高い値であることが望まれる。

⑧有収率(%)

施設の稼働が収益につながっているかを判断する指標。100%に近い数値が求められる。

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

土地や建物、設備などの有形固定資産のうち、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、施設の老朽化割合を示す。数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、将来の更新等の必要性を推測することができる。

②管路経年劣化率(%)

法定耐用年数を越えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化割合を示す。数値が高いほど、法定耐用年数を越えた管を多く使用しており、将来の更新等の必要性を推測することができる。

③管路更新率(%)

当該年度の更新した管路延長の割合を表す指標で、管路の更新ペースを示す。